

令和7年度 宮城県第二啓佑学園 地域連携推進会議 議事録（要約）

日 時 令和8年1月21日（水） 13時30分から14時40分まで

場 所 宮城県啓佑学園 会議室

出席者	第二啓佑学園利用者様	2名
（5名）	利用者様家族	1名
	地域の関係者	1名
	福祉に知見のある方	1名

第二啓佑学園園長、啓佑学園園長、第二啓佑生活支援課課長、生活支援ワーカー（2名）

1 開会・挨拶

第二啓佑学園園長より挨拶があり、第二啓佑学園についてと地域連携推進会議の重要性について説明。

2 推進委員紹介

出席者を紹介し挨拶いただく。

3 会議の趣旨説明、流れについて

別紙（地域連携推進会議について）を使用し以下の内容を抜粋し説明。

- ・会議設置の背景
- ・地域連携推進会議の目的
- ・会議で主に扱う内容
- ・本会議の位置付け

4 議 事

（1）施設の概要について

- ・利用者支援について
- ・地域との交流、地域資源の活用
- ・行事、家族との交流
- ・関係機関との連携
- ・リスクマネジメントの推進
- ・人材育成について

（2）ヒヤリハット・事故報告について

- ・件数・内訳の報告
- ・SHEL分析について

(3) 生活の様子(利用者様委員から)

- ・ここでの生活は楽しい
- ・お弁当が美味しい
- ・パズルをしているのが楽しい
- ・職員は優しい
- ・マックに行きたい

5 施設見学(見学中の質問及び回答・感想)

Q: リハビリはしているんですか。

A: 理学療法士(啓佑学園所属)が、週1回の体操と個別に数人リハビリ行っている状況です。

Q: スヌーズレンルームは使用しているんですか。何か効果の検証はしているんですか。

A: 土日等の余暇時間等で使用しています。スヌーズレンルームを使つての効果などの検証まではしていません。

Q: 昨年まで歯科の往診があったが、今は来ているんですか。

A: 今は北中山歯科に通院という形を取らせていただいています。

意見: 布団の方もいらっしゃるみたいですが、今後年齢が上がるにつれベッドの方が対応しやすくなると思います。

意見: なかなか中まで入る機会がなかったのでみれて良かったです。

意見: コロナ前にボランティアで来ていたところが懐かしいです。

6 質疑応答・意見交換

<委員から>

地域に住んでいて何か地域でできることはないかと考えてみたのですが、利用者が散歩をしている際に、全く知らなければちょっと怖いなど感じると思う。声を掛けても大丈夫になるようにお家の方からこういう方もいるんだと話をしてもらえたら、挨拶をすることでちょっとでも近づけていけたら、距離が縮まると思う。でも最近子供たちに挨拶をするだけでも防犯ブザーを鳴らされたりすることもあるので、何か接点を持てる機会があったらいいなと思いました。長くお世話になって職員の皆様には日々親身になって支援していただきありがとうございます。色々対応していただき感謝しています。

<施設から>

貴重なご意見ありがとうございました。地域との関わりの機会を作っていければと思います。

<委員から>

コロナ前はけいゆうまつりの参加をさせていただき、やきとり、焼きそば、フランクフルトを作っていた。町内会としては明るい町づくりをしていて。光明さん、啓佑さん、小中学校と連携して交流をさせていただいていた。コロナがあつて交流が途切れてしまった。学校コミュニティを以前やっていて、これを戻していこうと話になっている。その際は啓佑さんも参加してもらえるとありがたいのかなと思う。けいゆうだよりを全町内に回覧しています。何かの際は情報を発信できるので御協力できることはしていきたいと思っています。

<施設から>

学校コミュニティ等の参加について機会があれば参加させていただきたいと思います。
情報の発信等何かの際はお願いいたします。

<委員から>

生活介護とグループホームに分けて運営しています。なるべく外にという事で散髪で外部に行く機会を人手がある時には行なっているが、なかなか進められていない。地域にでるという事をチャレンジさせていただいている。

地域によっては障害の方はちょっと…と理解が得られないところも実際あります。なので自分たちも色々な場所に出向いて頑張っている、知ってもらうことをしていかないと減ってはいかないのかと感じます。

・利用者の動きという部分でなかなか取れていないように感じました。40代以降からの体力の低下というものが医学的根拠にもあるので、是非リハビリを取り入れていけるといいのかと思いました。運営に関していえばリハビリ加算も取れるので計画書を作成し医師と連携を取って、医療と福祉との連携というものを取っていけるといいのかなと思いました。地域に出た時に体力がないという事にもつながっていくので専門職との連携をとっていくといいのかと思いました。

<施設から>

啓佑学園所属の理学療法士が第二啓佑学園への支援も行っており、二つの施設を掛け持ちで行っている為、十分な対応が出来ていない部分がありますが、ご意見を参考にさせていただきながら、充実した支援に繋げていければと思います。